

その他
製品

ケコムセグメント工法

建設技術審査証明：第2007号

ケコムセグメント工法とは

大深度立坑の構築では鋼製のケーシングを圧入し、その内面を現場打ちで覆う工法で施工が行われてきましたが、工事期間の長期化や立坑内作業の増加というデメリットをもたらしていました。ケコムセグメント工法は躯体が鋼製ケーシングと鉄筋コンクリートの合成構造となっています。そのため回転圧入後専用のバケットにて水中掘削を行い内部の泥水を排出し、立坑を完成させることができます。さらに施工中の立坑内作業が減少でき、工期短縮とともに安全性の向上を図ることができます。

ケコムセグメントの特長

1 安全性

内枠を建てて人孔を構築する必要がないため、立坑内作業が減少し安全性が向上します。

2 工期短縮

躯体が鋼製ケーシングと鉄筋コンクリートの合成構造であり、立坑構築後は一部を除きそのまま人孔構造物となるため、鋼矢板や深礎工法と比較し工期を約1/3に短縮することができます。

3 耐震構造

鉛直方向は柔構造であり、耐震レベル2に対応しています。

4 施工性および施工精度の向上

回転圧入ができる専用重機を使用するため、施工性および施工精度が向上します。



製品概要

インフォ
メーションNETIS
登録製品

水路

雨水貯留

擁壁

補強土工

テクスパン
工法電線類
地中化製品

道路

ます

景観

耐震性
貯水槽スポーツ
ウォール

その他製品

会社案内

- 製品概要
- インフォメーション
- NETIS登録製品
- 水路
- 雨水貯留
- 擁壁
- 補強土工
- テクスパン工法
- 電線類地中化製品

道路

ます

景観

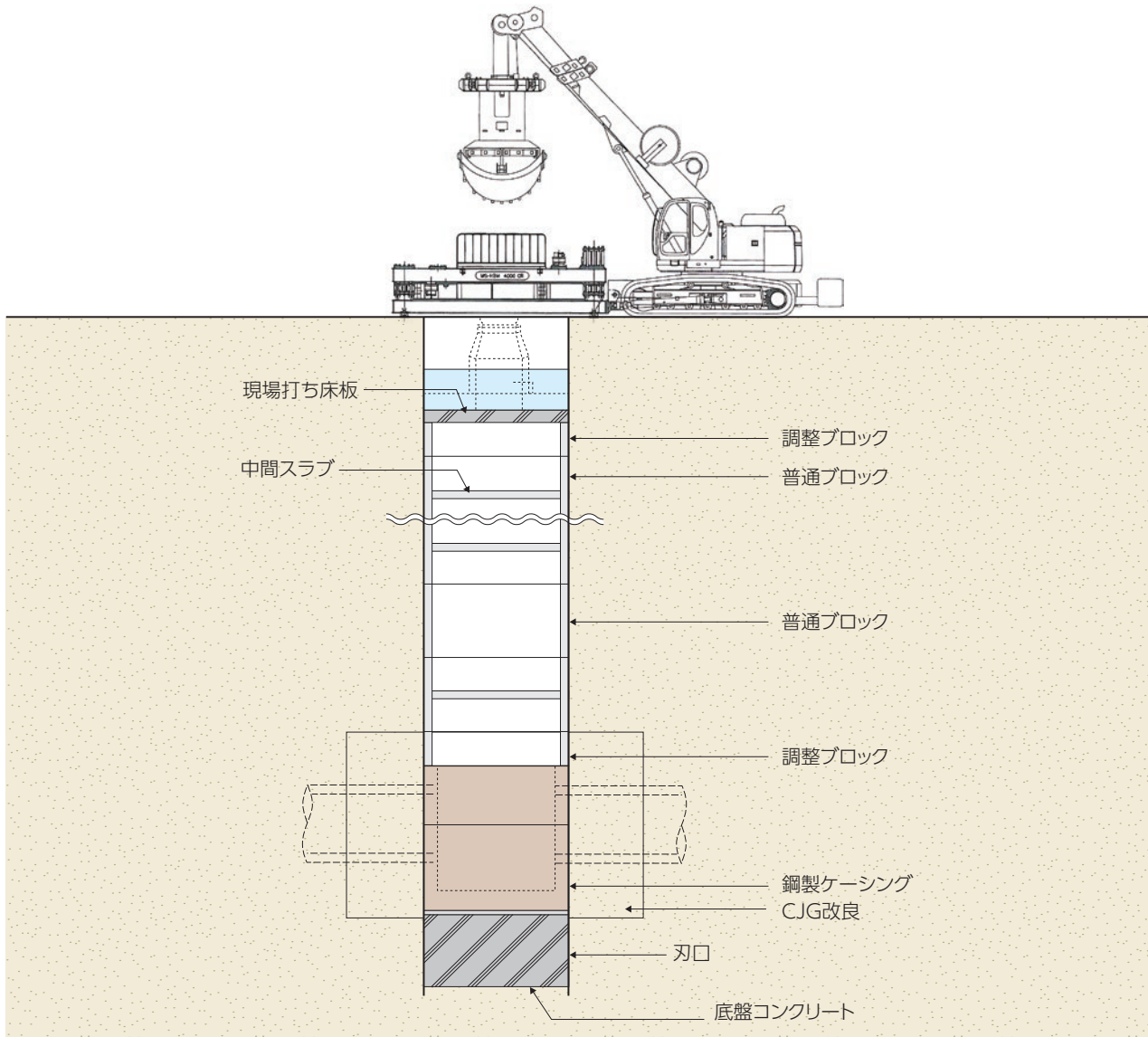
耐震性貯水槽

スポーツウォール

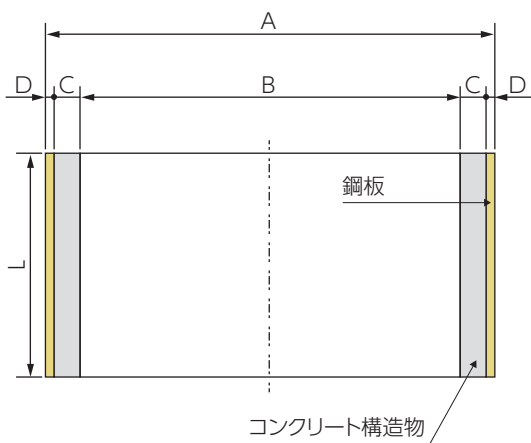
その他製品

会社案内

ケコム セグメント立坑参考図



ケコム セグメント形状規格



規格表

単位(mm)

呼び径	A	B	C	D	仕様
2500	2500	2182	150	9	普通ブロック
			147	12	調整ブロック
3000	3000	2682	150	9	普通ブロック
			147	12	調整ブロック
3500	3590	3272	150	9	普通ブロック
			147	12	調整ブロック
4000	4000	3632	175	9	普通ブロック
			172	12	調整ブロック
4500	4590	4172	200	9	普通ブロック
			197	12	調整ブロック
5000	5000	4582	200	9	普通ブロック
			197	12	調整ブロック

※Lは普通ブロック2000、調整ブロック1000